

傘は会場内では誰もが意図せず重大な事故の加害者になりかねない危険極まりない凶器なのだと言われたい。会場内では開かなくても長く先が尖った傘は危険物なので、もし雨天の際でも会場に持って行く傘は折りたたみできるものにして、会場到着後はたんでバッグの中に仕舞っておくのがベターだ。そして傘以外の雨具、日傘以外の日除けをよく研究し、忘れずに用意しておくことをお忘れなく。

常識 一般参加者のカート持込自重!!

一昔前は巨大なバックパックを担いだ参加者、現在は傍若無人にカートを曳く参加者が混雑した会場内の嫌われ者No.1と言って間違いないだろう。誰だって歩いていきなり硬く重い荷物を叩きつけられたくはないし、カートに足を轢かれたり、脛を強打されたりもしたくないに決まっている。

しかし残念ながら確率的に誰でもいつでもこのアクシデントには遭遇し得るし、たとえカートの使用者がいくら注意したとしても混雑した会場内では傘と同じく、誰かにぶついたり、誰かが引っかかる可能性をゼロにはできない。

多くのイベントでは一般的となっている関係上、そのままの認識でコミケットでもカートを曳いて来場する参加者も多いかもしれないが、コミケットではカートも個人の楽のためにただでさえ混み合う会場内で余分にスペースを要し、他の多くの参加者に危険を振りまく歓迎されざるアイテムなのだ。

般入荷物があり、開場後にカートを曳いて歩く必要がないサークル参加者はまだしも、少なくとも一般参加者には会場へのカート類の持込を極力控えてほしい。

他のイベントと同じように深く考えずにカートを持ってきた方がいいが、会場内でぶつけて引っかけてろくに移動できないばかりか、その相手とトラブルになって……という事態に陥ってから後悔しても遅い。会場内ではカート持ち込み者が1人減るほど全体のストレスが軽くなっていくと言っても良いくらいだ。

全てがケタ違いのコミケット会場、アナタ個人の『楽』も大切だが、それが他の参加者に『苦』にならないよう、お互いに少しづつ我慢し、荷物をコンパクトにまとめる工夫をしよう。

常識 荷物は分割、バッグ選びは慎重に。

コミケットに持って行く物は意外と多い。その上同人誌を買うことを考えたら、どれだけ大きなバッグでも足りないかもしれない。とは言え、何でもかんでも同じバッグに詰め込むのはあまり良い方法とはいえない。同人誌以外の雑物を一緒に詰めるとせつかくの同人誌が折れたり曲がってしまう危険があるし、買った物を入れるために頻りに開け閉めするバッグに財布や携帯などを入れておくと気がつかないうちに落としてしまっている危険があるからだ。

そういった事態を避けるためにも、貴重品や会場内で頻りに使わないような物品はまとめてナップザックやヘルトポーチ、ポシェットなどに分けておき、買った本を入れるバッグとは別に携帯するのが良い。

また、当然ながら本をいっぱいに入れたバッグは非常に重くなる。帰宅するまで常時持ち歩くものだけに、バッグの良し悪しは体力の消耗に大きく関わってくる。

コミケットに持って行くバッグは容量もさることながら、肩や手へのストレスを重視しよう。また、バッグそのものの耐久性も確かめておいた方がよいため、使う予定のバッグは面倒でも事前に雑誌や水を入れたペットボトルなどを詰めて実際に持ってみて、身体への負担や強度に問題がないかチェックしておくようにしたい。特に買い物でメインとなるバッグの場合、手袋や身体への食い込みを防ぐためにも何らかのクッション材を用意しておくことをオススメする。

紙袋類も底の強度はもちろん、持ち手をよくチェックしておこう。持ち手の紐が細いものは、本を多量に入れると間違いなく手や腕に食い込んで痛い思いをすることになるし、紐とバッグの接合部が補強されていない物ではそこから袋が破れてしまう危険が高い。

さらに紙袋類はほとんどの場合、水に濡れると著しく強度が下がるので、万一のことを考えればきちんとした防水加工が施されているか、ビニールカバーされている物をチョイスしよう。

